

## 一般社団法人WATALIS 平成28年度事業報告書

事業名	平成28年度 復興庁 被災者支援総合交付金 被災者支援総合事業「心の復興」事業 「被災地で共に創るみんなの居場所」事業	実施期間	平成28年6月～平成29年3月
-----	---	------	-----------------

事業目標	<p>&lt;目的&gt;</p> <p>①被災地域における地域コミュニティの再構築 ②空洞化した地域の活性化 ③震災の記憶の風化防止</p> <p>&lt;概要&gt;</p> <p>①手しごとで代表される地域の伝統文化の継承が困難となった被災地域において、ワークショップと茶話会及び交流イベントを定期的かつ継続的に実施し、ものづくりの楽しさや人が集まることで生まれるエネルギーを体感しながら世代を越えて交流を深められる場を創出した。参加する被災者が人との結びつきを感じ、支えあう仲間がいるという安心感を得ることで、心の癒しと一体となった地域コミュニティの再構築を行った。</p> <p>②空洞化した商店街に活動拠点を設けることで、人の流れを再び呼び戻し、被災地域活性化を図った。</p> <p>③活動拠点内に震災の記憶を伝える関連図書などの資料展示コーナーを開設し、ワークショップやイベントの参加者等に閲覧を促した。人から人への口コミでの拡散を促した。空洞化した地域の活性化と震災の記憶の風化防止を図ることを目的として、参加者同士が交流を深め、交流の場に足を運びきっかけづくりとして、交流イベント「心を癒すトーク&amp;コンサート」を実施した。</p>
------	---

事業内容	<p>心を繋ぐ手しごとワークショップ</p> <p>1.実行委員会の実施(3回)</p> <p>・高齢者や子育て中の母親などの地域住民、復興支援関係者をはじめとした、多様なメンバーを実行委員とした。意見交換を行い、被災地域のニーズを聞き取りながら、事業運営に反映させることで、被災地域住民参画型の事業とした。</p> <p>①設置目的 事業実施に関する課題の把握、整理、検討及び事業の進捗管理 ②委員構成 5名(高齢者や子育て中の母親などの地域住民、復興支援関係者) ③開催日時 平成28年6月24日(金)・10月28日(金)・平成29年2月24日(金) 計3回 ④開催場所 被災地域(宮城県亘理町内)当法人事務所兼交流スペースを使用</p> <p>2.ワークショップと茶話会の開催・交流イベントの開催</p> <p>①内容 講話及び実技研修2時間、茶話会1時間、計3時間程度(講師謝礼対象時間各回ごと2時間)</p> <p>・地域の民俗の伝承が困難となった被災地域において、参加者が自らの資質を向上させ人との結びつきを感じることができるような場を開設し、「手しごと」を学ぶワークショップと茶話会を定期的実施した。参加者同士が交流を深め、悩みを語り合える癒しの場として機能させることで、互いに支え合う仲間がいるという安心感を得ながら、自ら復興に取り組む意欲を高めた。</p> <p>・交流の場へ足を運びきっかけづくりとして、イベントを開催した。テーマ等の詳細は、実行委員会において被災地域のニーズに応えられるものを選定し、「心を癒すトーク&amp;コンサート」とした。心を癒し、性別や世代を越えた多様な人々が参加し、楽しめるものとした。</p> <p>②開催日 &lt;ワークショップと茶話会&gt;平成28年6月～平成29年3月 全40回 &lt;交流イベント&gt;平成28年8月21日(日)・11月27日(日) 全2回 ③開催場所 被災地域(宮城県亘理町内)当法人事務所兼交流スペースを使用 ④対象者 被災地域住民(応急仮設住宅居住者、民間賃貸住宅(みなし仮設)居住者、災害公営住宅居住者など定員各回15名程度) ※参加者を固定化しないように、初めての参加者を優先した。 ⑤講師 &lt;ワークショップと茶話会&gt;手しごと関係者1名(謝金対象1名@7,200×2H)&lt;交流イベント&gt;イベント関係者4名(謝金対象4名@7,200×2H) ⑥広報 チラシ3,000部 月1回作成・配布した。配布先:地方公共団体、災害復興ボランティア関係団体、関係者、関係団体、他希望者 ・地元商店、公共施設のほか、各種報道機関に告知チラシを発送するなど情報を発信し、広範囲に周知を行った。 ・亘理町内で活動するNPO法人に告知チラシ配布を依頼した。</p> <p>⑦その他</p> <p>・アルバイトは被災地域内の高齢者または子育て中の母親等、地域の女性を採用することで働く場を提供するよう努めた。 ・会場内に関連図書などの資料の展示コーナーを開設し、ワークショップやイベント参加者等に閲覧を促した。実行委員の協力の下で運営を行った。 ・震災の記憶を伝える関連図書等の資料展示をワークショップ参加者をはじめ、誰でも自由に閲覧できるようにするとともに、事業内容(ワークショップやイベントの実施状況)をHPやSNS等で発信し、薄れゆく震災の記憶の風化防止に努めた。</p>
------	---

## 予算

平成28年度被災者支援総合交付金	5,200,000 円
総事業費	5,200,531 円
自己資金	531 円
差引事業費	5,200,000 円
助成金返還額	0 円

## 人員体制

・代表理事	引地 恵	助成事業全体の取りまとめ 実行委員会の開催に関すること
・理事	橋元 あゆみ	広報(チラシ制作・配布、HPやSNSでの告知等)に関すること
・理事	菊地 喜久江	ワークショップ企画・運営に関すること